

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事業名	不燃物前処理事業	コード	01-01-14-02	担当課	環境課 衛生係
事業実施期間	平成2年度～		担当者	馬場敬士	
総合計画事業(政策)体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり	電話	64-1821	
	中項目	生活しやすいまちづくり			
	小項目	ごみ処理			
	施策	資源ごみの分別拡大と収集による減量化・資源化の推進			

事業について	
目的	不燃ごみの選別(前処理)を行うことにより、ごみを再資源化して最終処分場の延命を図る。 (下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法の代替業務)
対象(誰のために)	燃えないごみの処理を必要とする、備前地域の市民・市内事業者 (下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化を受けた業者)
内容	備前地域で集められた不燃ごみのうち、スチール、アルミ缶、ビンの選別(前処理)を行う。

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など(単位)	回数など(単位)	回数など(単位)
不燃物前処理量	493 t		
資源化量	240 t		

事業費(単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	31,919	国県補助金等		直接事業費		国県補助金等		直接事業費		国県補助金等	
	人件費	7,052	受益者負担		人件費		受益者負担		人件費		受益者負担	
	市債			市債				市債				
	合計	38,971	一般財源等	38,971	合計	0	一般財源等	0	合計	0	一般財源等	0

必要人員	1.75	人		人
結果指標名	不燃物前処理量			
結果指標量	493			
単位	t			
対前年比	—		0.00%	
事業費	29,400,000	円		円
単位当たりコスト①	59,635	円		円

結果指標名	資源化量			
結果指標量	240			
単位	t			
対前年比	—		0.00%	
事業費	38,971,000	円		円
単位当たりコスト②	162,379	円		円

事業の成果			
成果指標名	資源化率	式又は説明	資源化量/不燃物前処理量
	17年度		
成果指標量	49		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	65	到達目標年度	平成27年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である [関係法令等：廃棄物処理及び清掃に関する法律第8条]
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

総合評価		評価区分
コメント	分別の細分化を進めれば資源化率も向上し、業務の縮小が必要であるが、下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法に基づく代替業務であるため業務の縮小は難しく見直しが困難である。	<A~E>
		C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合			
翌年度	結果指標量①	485	結果指標量②	270
目標値	成果指標量	55		

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	ビン類のコンテナ回収	H18.10~	資源物のリサイクル
効率性			
有効性	委託内容の検討	H18~	資源化率の向上と最終処分場の延命化